

福島第一原子力発電所5・6号機 サブドレン設備の運用開始について

2022年 3月 31日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 5/6号機 サブドレン集水設備設置工事進捗

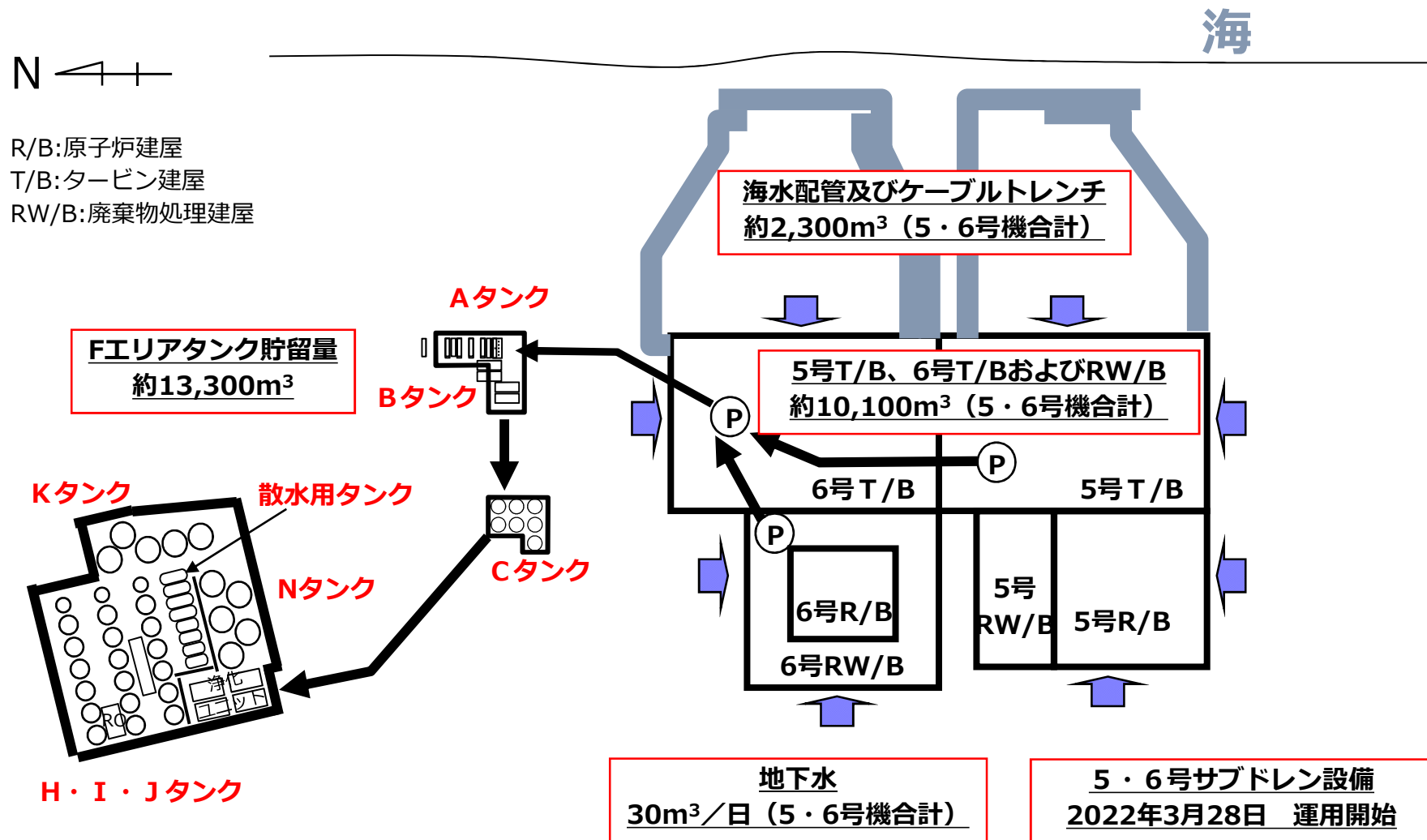
- 5/6号機サブドレン設備は、更なる5/6号機の建屋流入量抑制のため、2020年9月から復旧工事を開始（2020年2月、第75回廃炉・汚染水対策チーム会合／事務局会議にて報告）していた。
- 5/6号機サブドレン設備でくみ上げた地下水は、既設サブドレン集水設備へ移送する計画であり、移送に係る設備設置工事は完了しており、2022年2月に総合試験を経て、2022年3月28日より運用（移送）を開始し、稼働は日中時間帯から始め、状況を確認しながら徐々に稼働時間を延長していく計画である。



— : 配管設置済 (約1,900m) ■ : 中継タンク設置済 (2基) ● : サブドレンピット ポンプ・水位計設置済 (13箇所)

2. 5・6号機 低レベル滞留水量※1の状況

5・6号機 低レベル滞留水量の合計約25,700m³ (2022.3.28現在)



※1：5・6号機滞留水は、1-4号機滞留水と比べ放射能濃度が十分低いため、区別する目的で「低レベル滞留水」と記載する。

3. 5・6号機 低レベル滞留水量の推移

- 2014年9月から2022年3月までの5・6号機 低レベル滞留水量の推移は以下のとおり
- 今後サブドレン稼働による影響を確認していく予定。

5・6号機 低レベル滞留水量の推移

